

熱電温度トランスデューサ
HTT2-82A
HTT2-83A (DC110V電源)



HTT2-82A
(120×56×130mm/600g)

ボックス
トランスデューサ

■用途

JISに基づく各種熱電対の熱起電力を入力とし、絶縁して温度に比例した直流信号に変換します。

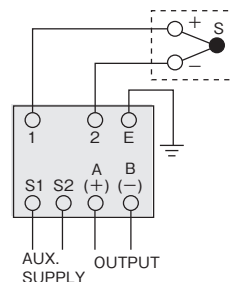
■特長

- 耐電圧AC2,000V(入力、出力、補助電源、アース相互間)を満足します。
- インパルス耐電圧5kV 1.2/50 μ s正負極性 各3回(電気回路、アース間)を保証しています。
- 出力線間サージ保護付(2,000A \pm 8/20 μ s)、出力を遠方へ直送できます。
- 定電圧、定電流出力です。

■仕様一覧

熱電対の種類	標準入力範囲	入力	出力(負荷抵抗)	補助電源	共通仕様
B	⑦~⑨	①: 0~200 $^{\circ}$ C ②: 0~300 $^{\circ}$ C	①: DC0~100mV(200 Ω 以上) ②: DC0~1V (200 Ω 以上)	①: AC100V \pm 15%, 50/60Hz ②: AC110V \pm 15%, 50/60Hz	許容差: 0.5% 応答時間: 1秒以下/99% 消費VA: AC電源 3.5VA DC電源 3.5W DC110V 4.5W 質量: 600g
R	⑦~⑨	③: 0~400 $^{\circ}$ C ④: 0~500 $^{\circ}$ C	③: DC0~5V (1k Ω 以上) ④: DC0~10V (2k Ω 以上)	③: AC200V \pm 15%, 50/60Hz ④: AC220V \pm 15%, 50/60Hz	
S	⑦~⑨	⑤: 0~600 $^{\circ}$ C ⑥: 0~800 $^{\circ}$ C	⑤: DC1~5V (1k Ω 以上)	⑤: DC 24V \pm 15%	
K	②~⑧	⑦: 0~1,000 $^{\circ}$ C ⑧: 0~1,200 $^{\circ}$ C	A: DC0~1mA (10k Ω 以下) B: DC0~5mA (2k Ω 以下)	⑥: DC 48V \pm 15%	
E	①~⑤	⑨: 0~1,400 $^{\circ}$ C ⑩: 上記以外	C: DC0~10mA (1k Ω 以下) D: DC0~16mA (600 Ω 以下)	⑦: DC110V (88~143V) ⑧: 上記以外	
J	①~⑤		E: DC1~5mA (2k Ω 以下) F: DC4~20mA (500 Ω 以下)		
T	①~②		G: 上記以外		

■結線図 (外形図はP33をご覧ください。)



補助電源がDCの場合S1を(+)、S2を(-)として結線して下さい。

- 電流出力の解放: 電流出力端子は、常時解放状態で使用しても問題ありません。なお出力端子には約15Vの電圧が発生します。
- DC110V電源は、形名がHTT2-83Aになります。
- N熱電対についてはご相談ください。

●リニアライザ内蔵

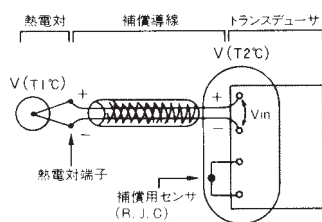
熱電対の熱起電力は、温度に比例していません。リニアライザにて温度に比例した出力に変換します。

●バーンアウト内蔵

熱電対の断線を検知して出力を(+)側に振り切れさせます。ご指定により(-)側振り切れも製作します。

●冷接点補償内蔵

熱電対は、原理上 $V(T1^{\circ}\text{C}) - V(T2^{\circ}\text{C})$ に相当する熱起電力を V_{in} として発生します。補償用センサにて $T2^{\circ}\text{C}$ に相当する熱起電力を補償します。



●補償導線について

補償導線は、熱電対端子とトランスデューサ端子の温度差を補償するものです。

熱電対の種類により補償導線の色(材質)が異なりますので、熱電対に合わせて補償導線をお選び下さい。また、接続の際は+、-の極性を合わせて下さい。

●外部抵抗範囲

外部抵抗値とはトランスデューサに接続される熱電対、補償導線及び導線などを合わせた往復回路抵抗値です。外部抵抗範囲は25 Ω 以下でご使用下さい。

■ご注文時の指定事項

指定事項	仕様番号
形名	HTT2-82A HTT2-83A (DC110V電源)
熱電対の種類	K
入力	2
出力	F
補助電源	1